校了 | 制作会社：あかがね　制作者：辻
14.09.08 | 校正者：鈴木　悠太　様

MAM-730C

MAM-730C　ZZB2　2015年1月5日発行
＊MAM730C＊

LIXIL TOSTEM

把手セット(プッシュプル)　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

名　称	入　数	詳　細
外側把手	1　個	――――
内側把手	1　個	――――
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×30／4本
箱錠セット	1セット	箱錠／2個、ラッチ箱錠／1個、皿小ねじM4×16／6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12 ／ 6本(アルミドア用)
シリンダーセット（別途手配）	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー(コンストラクションキー) ／3本
サムターン・セキュリティサムターンセット*1	1セット	サムターン／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装付き)、セキュリティサムターン／1個、サムターンキー／2本、サムターン座／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装なし)
取付け説明書	1　枚	――――
お施主さま用取扱い説明書	1　冊	袋入り

*1 エントリーシステムの場合は、「サムターン・セキュリティサムターンセット」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。
防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。
ドア厚 60mm 用の場合、トラス小ねじの長さが M5 × 65 になります。

■固定把手セット

名　称	入　数	詳　細
外側把手	1　個	――――
内側把手	1　個	――――
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×30／4本

■取付け完成図

【アーチハンドル／室外側】

【バーハンドル／室外側】

【バーハンドル／室内側】

■取付け順序

1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。(アルミドアのとき皿タッピンねじ)

2 把手の取付け

①外側把手を室外側から差込みます。
②内側把手を皿小ねじで固定します。
③内側台座カバーを内側把手に取付けます。
※両開き子扉には、上記①・②・③の手順で固定把手を取付けます。

■内側台座カバーの取付け方（A部詳細図）

■内側台座カバーの外し方

図番	用紙サイズ(表色数/裏色数)×枚数	形式	折数	設指番号
G011SI0002	A3(1/1)×1	単票	4	DH-14163

3 箱錠の取付け

①ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ（アルミドアのとき皿タッピンねじ）で取付けます。
※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。（下図「箱錠の取付け向き」参照）
※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。
②ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ（アルミドアのとき皿タッピンねじ）で取付けます。
※鎌箱錠は「TOSTEMマーク」を上にして取付けてください。（下図「箱錠の取付け向き」参照）

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

①TOSTEMマーク付きシリンダーのTOSTEMマークを上に向けます。
②TOSTEMマーク付きシリンダーの出っ張り（4カ所）を、ダブル鎌デッド箱錠（上部箱錠）の角穴に合わせて差込みます。
③サムターンをトラス小ねじでTOSTEMマーク付きシリンダーに取付けます。
※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。（5参照）

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

①封印シール付きシリンダーの上面シールを上に向けます。
※上面シールがない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けてください。（下図「シリンダーの取付け向き」参照）
②封印シール付きシリンダーの出っ張り（4カ所）を鎌箱錠（下部箱錠）の角穴に合わせて差込みます。
③セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。
④サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
⑤ボタンを上に押上げながら、サムターンキーを差込みます。（ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。）

※電動サムターンの取付け方法は、エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照ください。

■箱錠の取付け向き（A部詳細図）

※TOSTEMマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。

■シリンダーの取付け向き（B部詳細図）

※上面シールが張られていない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けて取付けてください。

■サムターンツマミの操作

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。

※セキュリティサムターンは施解錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

【高防犯箱錠の場合】

■高防犯箱錠は、ドア下部の切欠き部に取り付けます。

①高防犯箱錠を皿小ねじ（アルミドアのとき皿タッピンねじ）で取付けます。
②高防犯シリンダーの上面シールを上に向けます。
③高防犯シリンダーの出っ張り（2カ所）を高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン（2本）で固定します。
④セキュリティサムターンを高防犯箱錠の角穴に合わせて差込み、固定ピン（2本）で固定します。
⑤サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
⑥ボタンを上に押しながら、サムターンキーを差込みます。（ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。）
⑦高防犯箱錠に皿小ねじでフロントを取付けます。
※固定ピンは頭がケース上面と同じになるまで差込んでください。
※固定ピンをスムーズに挿入できない場合は、ハンマー等で軽くたたき込んでください。その際、サッシ等を傷つけないように注意してください。

■高防犯シリンダー側面図

■セキュリティサムターン側面図

■コンストラクション装置について

●封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
●封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

株式会社 LIXIL